市川市議会議員　会派「市民の力」

石原よしのり 市政報告

私たちの住む市川市ですが、市でどのようなことが起こっているのか、市がどのようなことを進めようとしているのか、日頃の生活の中では情報を得る機会も少ないため、なかなか関心が持てないのではないでしょうか。

新年度を迎えるにあたり、2017年度（平成29年度）の市政をめぐる動きや私の活動についてご報告いたします。

●市長不在の異常事態

現在、市川市には市長がいません。昨年11月に行われた市長選挙で５人の候補者全員が法定得票数（有効投票数の４分の１）に達しなかったため当選者が決まらず、再選挙をすることになりました。再選挙は全国で６例目ということです。その原因は大久保前市長が市長選挙直前に突然引退を表明したため、いろいろな思惑で乱立した候補者たちが的確に市川の課題と将来像を示すことができず、市民の支持を集められなかったことだと思います。

その後、選挙の開票結果に市民から異議申し立てが出されたことで、その再選挙の日程が決まらないという、さらに混迷を深める事態となりました。市長が不在の間は、副市長が市長の職を代理して最低限の業務は行うのですが、選挙で選ばれていない副市長では重要な方針や決定を行うことはできないので、市政が停滞することは避けられません。

▲市長選挙掲示板

再選挙の投票日が４月22日に決定

選挙管理委員会が、疑念を払うため全ての票の数え直しと開票作業の検証をした結果、異議申立人が了解したことで事態の収束が図られ、再選挙を４月22日に実施することが決まりました。今度こそ48万都市である市川市の将来を託せる市長が誕生することを望みます。マスコミも注目している選挙です。皆さん、関心を持って候補者を比べて自分の考えに一番近い人を選んでください。

ちなみに、再び市長選挙を実施するための費用は、人件費、投開票所設営費、ポスター掲示板設営費、投票整理券印刷発送費などの合計で、約１億１千万円です。

▲議場の市長席（左手前）

石原よしのりは年４回の市議会定例会終了後、議会報告チラシを作成し朝の駅頭やポスティングで配布するとともに、広く一般の方に市政報告会を開いています。市政報告会で議員と気軽に意見交換しましょう。入場無料です。次回の開催予定は右記の通りです。

石原よしのり市政報告会

日時：４月７日（土）15:00～17:00
場所：アイリンク会議室
（JR市川駅南口タワーズイースト３階 行政サービスセンター内）

●里見公園分園のテニスコート建設計画は白紙撤回

昨年３月、市は里見公園分園の桜の広場をつぶしてテニスコートを作る計画を発表しました。里見公園分園の桜広場は市川市観光協会のホームページでも素晴らしい桜の名所として紹介されているところです。事前に何も知らされなかった周辺住民や市民グループは、こぞって大反対の声を上げ、新聞テレビでも取り上げられたことから、市の進め方への批判が高まっていきました。そのため市は計画を強行することもできず、結局12月議会で**テニスコート建設費８千万円が予算から全額削除され、計画は白紙撤回**となりました。

▲補植後の若木と切り株

市民の力で、地域に愛される桜の名所が守られました。市民一人一人では非力でも、まとまって大きな声になれば市がいったん決めた政策も覆すことができる、そんな事例として語られるでしょう。

その後、この桜広場は風倒の危険性のある老木の伐採と若木の補植が行われ、今後もベンチなどの整備を進めることになりました。ちょうど向かいに和洋女子大学看護学部の校舎が新たに完成したので、学生たちの憩いの場にもなるでしょう。

▲里見公園分園の昨年の満開の桜

●国府台運動公園の本格的な改修整備が決まる

昨年12月議会で、国府台運動公園の運動施設率規制を緩和する条例が可決されました。この公園は敷地面積に対する運動施設の割合が法律の上限を超えていたため、老朽化した施設の改修や建替えが認められませんでした。そのためテニスコートを北市川の柏井地区に移転するなど運動施設を減らす対策を進めてきました。しかし昨年６月に法改正で施設率を市が独自に設定できるようになったことから、施設率の上限を引き上げて運営の自由度を広げることができるようになったのです。

今回の条例改正に合わせて、国府台公園の本格的な改修整備の基本設計を行う予算が可決されました。その基本設計に基づき2019年度から順次、野球場のナイター設備や更衣室などの設置、陸上競技場の老朽化した観覧席の更新、駐車場の整備、テニスコートの更新、そして緑地やオープンスペースの確保など本格的な改修が見込まれます。

この基本設計には市民の意見を十分反映するとのことですので、意見や要望があれば石原よしのりにお聞かせください。

▲国府台運動公園

連絡先　市川市議会議員　石原よしのり　〒272-0826 市川市真間4-11-C202　TEL:047-710-0958　FAX:047-710-0959　yoshinori.ishihara@gmail.com

●進む市庁舎の建て替え事業

昨年５月、南八幡に建てていた市役所仮本庁舎が完成し、市民関係の窓口や市長室、市議会などが移転しました。駅から離れているため市民の皆様には不便をおかけしています。国道14号線沿いの旧本庁舎は解体され、現在は更地となり本庁舎建設に向けて地盤改良工事が行われています。本庁舎は2020年春に完成の予定です。

市役所の建て替えは、東日本大震災の後、復興需要とオリンピック特需で建設費が高騰しているタイミングでの実施のため**費用は総額約270億円**に膨れ上がりました。また急いで計画を推し進めたため**市民の声がほとんど聞かれなかったことが問題**だと、私は議会でさんざん見直しを訴えてきましたが、残念ながらどんどん進められています。

今後、大型建設事業計画が出てくる際には、できるだけ事前に市民の意見を聞き、その意見を反映させるように求めていきます。

▲仮本庁舎

▲新第１庁舎の完成予想図

●外環道路が6月に開通予定、市川は大きく変わります

今まさに追い込みの工事が行われている外環道路ですが、**６月末に高速道路とその両側を走る国道が開通します**。計画から何十年もかかりましたがいよいよ完成です。

完成後は、羽田空港へ行くのも旅行で軽井沢に行くのも便利になることはもちろん、市内の渋滞が解消され排気ガスも交通事故も減るでしょう。緊急輸送路としての機能も担います。広い道路には今後サイクリングロードと緑地帯も整備されます。また道路の下を下水道の本管が通ることで市内の下水道整備が進みます。バスルートの整備などで郊外住宅地も便利になるでしょう。市川の姿が大きく変わる数十年に一度のできごとです。市川の明るい未来を想像してワクワクしませんか？

私は外環道路の開通で利便性が増す郊外住宅地へ子育て世代を呼び込み、長期的な本市の発展につなげたいと考えています。

▲完成間近な外環道路を視察

●外環道路沿いに「道の駅」がオープン

外環道路の開通に先立ち**４月７日、国分地区に道の駅がオープンします**。全国に1000か所を超える道の駅がありますが、ここは東京都心に最も近い道の駅となります。地元農水産物の販売やレストランだけではなく、災害時の避難場所、市民が集まるイベントやカルチャー教室の開催、FMサテライトスタジオから情報発信などを行う新しい都会型の道の駅です。運営は民間事業者に委託し、賑わい市民に愛される施設となるよう創意工夫をしてくれるものと期待しています。間もなくオープンする道の駅に足を運んでみてください。

▲道の駅完成予想図

●保育園の待機児童対策

市川市は昨年４月時点で待機児童が574人と全国で４番目、県内で断トツ１位となっています。2017年度には待機児童対策として、認可保育園13園と小規模保育ルーム７園、合計975人分の保育定員を増やしました。しかしながら、保育需要は年々増えており、今年の４月時点でもまだまだ多数の待機児童の発生が見込まれています。

大久保前市長が退任時にやり残した政策の第一に待機児童対策を挙げ、新市長に解決を託したいと述べましたが、石原よしのりは新体制下でも待機児童解消対策を強力に推し進めていくよう求めてまいります。

▲国府台保育園

●議員の不祥事のその後

①三浦一成議員を除名

昨年６月、三浦一成議員が児童買春の容疑で逮捕され、マスコミで大きく報道されました。容疑が容疑だけに市民からの批判は大きく市議会の信頼を損なう事件でした。三浦議員は釈放後も雲隠れを続け９月議会の全日程を無断欠席したことから、懲罰特別委員会で除名処分となりました。市民から即刻辞職すべきとの声が強かったことから、３ヶ月というスピード処分となりました。

②小泉文人議員が辞職

政務活動費不正疑惑（架空のアンケート費用として２百万円以上着服した疑惑）で議会の信頼を損ねたことに対して責任を問われた小泉文人議員が、その後説明も謝罪もせず１年経過したことから、昨年９月の議会で議員としての資質に欠けるとして議員辞職勧告決議案を出されました。小泉議員は発議案が審議される日の朝、辞職願を提出しました。

その結果、市議会が２名欠員となり、11月26日に市長選挙と同時に市議会議員補欠選挙が行われ、新たに２名の議員が選ばれました。

●赤レンガ倉庫の保存運動

国府台の旧千葉県血清研究所跡地内にある赤レンガ倉庫は明治時代に陸軍の武器庫として建てられた文化的価値が高い歴史的建造物ですが、研究所閉鎖後、放置されてきました。この赤レンガ倉庫を守り活用しようと市民団体が運動しています。県は市が公共的に活用する案を示せば払い下げるという意向を示しましたが、市川市が保存、活用に消極的なため、近く取り壊されてしまいそうです。保存を求める声がさらに高まり、市が保存にかじを切ることを期待しています。

▲赤レンガ倉庫

連絡先　市川市議会議員　石原よしのり　〒272-0826 市川市真間4-11-C202　TEL:047-710-0958　FAX:047-710-0959　✉yoshinori.ishihara@gmail.com